

このおたよりが、運動会後に届くか運動会前に届くかは、今現在は、分かりません。できれば、運動会特集にしたいのですが、万が一、6月25日も26日も悪天候であった場合は、7月2日に延期になります。もちろん、25日に実施できることを第一希望とします。第二希望は、26日です。第三希望は、7月2日です。いずれにしても、磐梯熱海スポーツパークで、のびのびと運動会が実施できますことを願っています。祈っています。

さて、幼稚園の運動会で見てきたことがあります。改めて認識したことがあります。少し書いてみます。

◇まず、一列に並ぶ。

これが、すべての基本になります。これができないと、次に進めません。何回か、何日かやるとできるようになりました。

◇線に沿って歩く

まっすぐ走る為の、前々(?)段階? 最初からまっすぐ走ることはできません、というか、走らせたら収拾がつかなくなる?

◇いろいろな決まり・ルールを覚える

運動会には、様々な決まり・ルールがあります。それらを、一気に覚えます。そして、それらを守って演技します。

◇「よーいドン」でスタートする

反射神経を鍛える初めての練習かもしれません。

<一気に高次元になります>

◇負けても泣かない。

一応、教えます。それでも泣く場合があるかもしれませんが、それはそれで決して否定するものではありません。ただ、まずは、「負けても泣かない」を教えられての涙なら、それはそれで価値ある涙と思います。それもまた、成長の一つだと思います。

◇負けても相手を称える

これは、小学生でも、中学生でも、大人でも、できる人は少ないと思います。でも、幼稚園から教えます。幼稚園でも、できる子どもがいます。並木幼稚園でもできる子どもがいます。すばらしいです。

以上、気付いたことを少し書きました。運動会当日は、演技中の姿だけを見て頂きますが、当たり前ですが、ここ約1ヵ月で、とてもとても成長した姿だということを考えていただくと、見ごたえ度、感動度がさらに高まることでしょう。

「運動会」というと、思い出す記事があります。私が社会人になって間もなくの頃(約40年前)だったと思います。スポーツ新聞にちょっと書いてあった記事です。その筆者は、運動会の時期になると、学校や幼稚園の近くを散歩するのが好きでした。そして、遠くから様子を見て、ころんできたり、一番最後を走っていたりする子どもを見かけると、「がんばれよ」「あなたを応援している人がここにいるよ」などと心の中でつぶやいて応援するのが好きだった、という記事です。

運動会で思ったことがあります。

一番、先頭の方は、だれもがカッコよく走れます。要は、最高の学びの場は、一番最後、後方の方になったとき、いかにカッコよく走れるかだと思います。

運動会っていろんなことを学ぶことができますね。味わうことができますね。